

森岡地区拠点施設基本構想・基本計画 質問カード回答

No.	テーマ	質問内容	回答者	回答
1	複合事例について	地域交流センター（豊田市の事例）について、長く続けていくことが大切だと思いますが、人が入れ替わる中で続けていくコツは何だだと思いますか？	鈴木先生	地域で継続的に活動する方がメンバーの中核にいて、蓄積した活動のハンドブック（マニュアル）が継承されること、第3者からのモニタリング体制があることでしょうか。長い目で見守る地域の眼差しが最も大事かと思います。
2	複合事例について	子どもたちの巻き込み方。具体例をもっと知りたいです。	鈴木先生	構想段階：子どもたちの想いを引き出す、設計段階：具体的な建築スペースの作り方について検討する、施工段階：工事の一部に参加するなどがあります。また小学生の低学年と高学年、中学生とでは、興味を持って参加できるテーマが異なると思いますので注意が必要です。学校の先生方と協力できるなら、総合学習の時間などでの取り組みもあっていいかもしれません。何れにしても子どもたちを巻き込む以上、聞いた意見をきちんと意見に反映することが重要です。必要であれば、事例の紹介や具体的な相談にのらせていただきます。
3	複合事例について	中学生ワークショップの話は良かった。小学生や子どもたちの想いや意見も取り込みたい。どのような手法が有効なのか？	鈴木先生	N0.2の回答を参照ください。
4	複合事例について	地域全体の情報 意識の共有はスムーズに図れましたか？	鈴木先生	必ずしもスムーズではありませんが、プロジェクトがどこに向かおうとしているのか、何が話し合われたのか、どこまで進んだかなどの情報発信をし、意見交換の機会をつくることかと思っています。また、地域から出てくる不安や意見を可視化して、いつでも閲覧できるようにすることで漠然とした不安が低減されることも経験してきました。課題が具体化されれば、解決に向けての意識が共有される方向性が見えると信じています。
5	複合事例について	複合化で失敗した事例、思ったよりも上手にできなかった事例はありますか？	鈴木先生	複合施設の中には、異なる施設が単に同居している事例があります。組織が別、運営・活動は別、入り口が別で交流がない、のようなケースです。今回森岡が目指しているのは、単なる同居ではないはずです。
6	複合事例について	話を聞く中で、豊田市浄水中学校を是非見たいと思います。先生を通じて実現して欲しい。	東浦町	浄水中学校への依頼を検討します。また、来年度初旬に学校と公民館を複合している三重県の事例を視察したいと考えます。その際に、整備計画検討会の皆さんも一緒に視察に行けるよう

No.	テーマ	質問内容	回答者	回答
				検討しています。
7	基本構想・基本計画について	ポジティブとネガティブを融合させる為の機会はどうやって造る？時間、場所 etc...	鈴木先生 東浦町	今のままでは公共施設を維持できないというマイナスの事象からスタートしている事業のため、ネガティブな入りではありますが、森岡の複合施設整備はまちの拠点を創造していく非常に貴重な機会であることから、魅力的な拠点創造を「みんなごと」でポジティブ進めていくために、今回の事例勉強会を始め、住民参加での検討会の場である整備計画検討会など、住民の皆様とともに作りあげていきたいと考えています。
8	基本構想・基本計画について	具体的な工程表	東浦町	東浦町公共施設再配置計画では、森岡地区拠点施設の整備について、2033 年度までに完成させることを目指しています。具体的な工程については、現在、取り組んでいる基本構想・基本計画策定の過程で検討します。また、土地区画整理事業の進捗に合わせて検討します。
9	基本構想・基本計画について	計画のどの部分を住民共働としたいか。その予定期間は。	東浦町	まず、計画段階では、「どのような拠点を創り上げていきたいか」という「コンセプト」や「どのように使いたいのか」を踏まえた「導入機能」等を検討する際に、施設の利用者である住民の皆さんと協働で検討していきます。計画策定期間は令和 8 年度 8 月末までを予定しています。 また、計画段階で終わりではなく、運営していく中でも協働することで、よりよい地域拠点となるような仕組みづくりをしていきたいと考えます。
10	基本構想・基本計画について	今の段階で行政がどういう構想を持っているのか、聞いてみたい。とても夢のあるプロジェクトだと思います。皆で考えられると良いです。	東浦町	現段階の案では、勉強会にて説明させていただいたとおり、森岡地区については、小学校、保育園、児童館、老人憩の家、コミュニティセンター、ふれあいセンター、消防団詰所、防災倉庫を集約化・複合化することとしています。これらを集約化・複合化つまり「拠点化」することで、多世代交流や多機能化による利便性の向上、効果的・効率的なコミュニティ拠点の整備が可能と考えています。 ただし、使用する皆さんの意見をお聴きしながら、機能や規模等を検討しますので、機能が決定しているわけではありません。

No.	テーマ	質問内容	回答者	回答
11	基本構想・基本計画について	今の集約・複合しようとしている施設は同じ建物内でおさめるがいいか、敷地内で別建物がいいか、現状の考え、感想を知りたい。	東浦町	集約化・複合化は基本的に1つの建物を想定しています。複合化、集約化の効果は大きく以下の3点があります。 1. 機能の異なる施設間の相乗効果の創出、コミュニティ拠点の形成 2. 合理性・効率性の最大化 3. コスト縮減（経済効果） （詳細は、東浦町公共施設再配置計画をご覧ください。） この効果を最大限引き出し、かつ、地域の拠点化のために、基本的には1つの建物とすることが望ましいと考えています。ただし、建築条件、施設の使用方法、機能の特性等を考慮し、別棟とすることが望ましいものがある場合は除きます。
12	基本構想・基本計画について	協議の結果の最終判断は誰がどのように行うのか？	東浦町	最終判断は町長が行います。 勉強会や整備計画検討会にていただいた意見については、庁内係長級職員を中心として構成する「作業部会」や、鈴木先生等、学識経験者を含む、庁内課長級職員にて構成する「検討委員会」にて審議した上で判断していきます。
13	基本構想・基本計画について	東浦町への質問 東浦中でも同じような勉強会、ワークショップをやりませんか？（やってください）	東浦町	東浦中学校・東浦文化広場基本計画を令和7年度から2年かけて策定したいと考えています。その過程では、森岡地区と同様に、住民の皆さんの意見をお聴きしながら検討していきます。
14	基本構想・基本計画について	公共施設として入居可能な職種はどこまでかお考えですか？	東浦町	地区施設については、「コミュニティ拠点」を形成することを目指しています。その目的や基本理念に合う職種と考えます。なお、どのような職種の機能を導入すると良いかについては、今後のワークショップ等にて皆さんと一緒に考えていきます。
15	課題・懸念点について	複合する施設の数多すぎると？ 2つ3つくらいが理想。	鈴木先生	従来の施設機能の継続維持を考えると、複合する施設の数が多いほど調整すべき事項が増えるのは間違いありません。一方でこれまでにない地域公共の場を一から創造する事業と考えるならば、議論のスタート時にはむしろ機能融合の可能性を大きくとらえてスタートすべきと考えます。
16	課題・懸念点について	「教育の変化」の中で非認知能力とは？学校建築を考えると、人々のメンタルヘルスは考慮しているのか？	鈴木先生	教育の目的が「既存の知識を身につける」ことから「知識を組み合わせて解決できる」ことにシフトする中で、本来の総体としての人間性が「非認知能力」として注目されていると思います。これまで学校建築は教育制度に基づく環境整備が標準目標

No.	テーマ	質問内容	回答者	回答
				として掲げられており、基本的に個々人のメンタルヘルスへの考慮は希薄であったと思われます。これからの学校建築（学びと成長の環境）は、個々の人間性を地域に開かれた環境の中で育む場であるにとらえるならば、多くの人を抱擁する多様性（ダイバシティ）の上に穏やかで選択できる居場所が得られることを期待します。
17	課題・懸念点について	地域コーディネーターは核となる役割と思いましたが、時間・場所のはめ込みなどはうまくいくもののでしょうか？体育館がとれない... などボランティア集まらない... など	鈴木先生	時間・場所のはめ込みがうまくいかない、ボランティアが集まらないことは、必ず起こります。そのためにはコーディネーターさんだけが責任を背負いこまないよう、早い段階でチェックできるモニタリング体制、課題を共有できる小回りのきく協議体を設置すべきかと思います。
18	課題・懸念点について	共創・共発・協働とよく言われますが、結局は中心になる人だと思えます。ヒト以外にヒントになるようなことがあれば教えてください。	鈴木先生	中心になる人が気持ちよく能力を発揮できるようにしたいものです。行政と地域の板挟みにならないような働き方環境の整備がポイントでしょうか。また、学校運営協議会の運用により特定の方にストレスがかからないような仕組み作りも考えたいものです。
19	課題・懸念点について	複合施設は良いと思いますが、事例からセキュリティ問題は、どのように解決されましたか？また、地元の方が多い中、他県から引越してきた人がなかなか入れなかったり、受入れ方（気持ち）も考えて欲しいです。	鈴木先生	建築的配慮としては専用、共用ゾーンの明確化と利用時間帯等を考慮した適切な動線の設定をしています。学校施設と複合施設が個別に対策するのではなく全体システムとして構築します。地域住民が、地域の中で児童生徒等の安全を守る意識を持てるよう、防犯対策についての共通理解を得る研修など必要です。
20	課題・懸念点について	セキュリティ問題をどのように解決？	鈴木先生 東浦町	先進事例も参考としながら検討していきます。 No. 19 を参照としてください。
21	課題・懸念点について	施設の中身についてのことはよく理解できました。近隣住民の生活の生活環境への配慮について先生のお考えをご教示ください。	鈴木先生	一般的に生活環境への影響は日影・眺望、交通量、運動場の砂塵や樹木からの落ち葉などがあり、計画・設計時の対策で対応できると考えています。そのためには駐車場や施設の配置を計画する段階から近隣の皆さんに参加いただくことが重要です。設計終了時に近隣から「具体的な計画内容を知らなかった」ということにならないようにすべきです。工事期間中に関しては、騒音低減工法、防音壁、工事時間の配慮など、施工者からの技術提案、協議を進めます。

No.	テーマ	質問内容	回答者	回答
22	課題・懸念点について	近所への住民の配慮はしてくれますか？（静かな環境、プライバシー）	東浦町	本町の小中学校にて、現状における周辺への配慮については新施設においても引き継ぐものと考えています。ただし、学校機能がある以上、静かな環境であり続けることは困難です。また、整備期間中については、施設整備・既存施設取り壊し時における工事による音の発生が想定されます。ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。
23	課題・懸念点について	財源不足が明確になっているが公共施設を「複合化・集約化」することで解決するのでしょうか？	東浦町	複合化・集約化することのみでは解決するものではないと考えます。 官民連携手法の導入、施設利用料の見直し等、あらゆる手段を組み合わせながら、施設整備や維持管理、運営を行う必要があります。 また、財源の問題は、公共施設のみに限りません。収入の確保や様々な事業に対して町として行うべき事業かどうか必要性の有無を検討し、東浦町の持続可能な発展に向け取り組みます。
24	課題・懸念点について	複合化・拠点化によるメリットは分かりますが、現在、公共施設は災害時の避難場所となっています。その数が減る&距離が遠くなる等のデメリットが懸念されます。そういう点が考慮して計画しないといけないのでは？	東浦町	近年では、激甚災害が頻発しており、防災に関する観点は非常に重要なものと認識しています。地域拠点施設を検討する際には、防災危機管理課と連携し、必要な防災施設・設備を備えることとします。 現在の避難所は、小学校の体育館、保育園の遊戯室等、建物の一部のみを指定している施設もあります。施設全体（大部分）を指定する等により、避難所の収容人数をできる限り確保するように検討していきます。 ただし、避難所の指定に当たっては、町の公共施設を優先的に指定していますが、2014年に愛知県が発表した東海地震・東海南地震・南海地震等被害予測調査による想定最大避難者数約1万2,000人もの避難者全てを、限られた公共施設だけで受け入れることは困難です。自宅や親戚・知人宅等にとどまる在宅避難や車中泊避難、ホテル等宿泊施設の利用など、避難場所以外の場所に避難することで感染症予防にも効果が期待できる分散避難について、事前の検討を推進していく必要もあります。

No.	テーマ	質問内容	回答者	回答
25	課題・懸念点について	園児・児童の安全確保	東浦町	園児・児童を始めとして、施設利用者、周辺住民の安全確保について最大限考慮し、基本計画の策定、施設の設計を行います。
26	課題・懸念点について	男女のトイレの共用について？誰でも使用・利用できるには？	東浦町	トイレに限らず、誰でも利用しやすい施設・設備とするため、ユニバーサルデザイン化に取り組めます。社会情勢にもよりますが、現段階において、男女のトイレを共用にする予定はありません。（多目的トイレを除く）
27	その他	鈴木先生が建築をやっていこうと思ったきっかけは何ですか？また、学校建築をやっていこうと思ったきっかけは何ですか？	鈴木先生	明確なきっかけがあるわけではないのですが、自身が地域環境や自然環境に育てられた気持ちが強く働いています。建築を学び始めた頃、人の行動や考え方に、生活する環境としての住む場所や学ぶ場所である建築が大きな影響を与えていることに関心が向きました。フィールドワークで何度も訪れた緒川小学校や卯の里小学校の賢徳の作り方やそこでの活動の様子はまるで別世界に映りました。壁がなく場所を選択できること、カーペット床に寝そべて本を読めること、それらの一つひとつが学校建築の可能性を感じさせるものでした。
28	その他	商業施設の導入はどう思われますか？	鈴木先生 東浦町	利便性向上、財源確保等を図るため商業施設の導入検討も必要と考えます。住民の皆さんの意見を伺いながら、「森岡地区拠点施設」に必要な機能を検討します。また、検討は基本計画段階で行います。
29	その他	森岡ではないのですが… ①東浦中央図書館と万葉集久松潜一先生コーナー ②うのはな館：於大様関係の古文書等保管場所 うのはな館は坂の上にあり高立地、水害よけの為、いざの時の災害の避難とは違った需要があるのでは？ ①②は東浦の特色のある大変良い建物で直接残してほしい。統合しすぎず、避難場所になりそうな所、北部ふれあいセンター森岡集合所も直接残してほしい。	東浦町	中央図書館、資料館については、全町拠点として、文化センターや各種支援センター等と集約化・複合化し、災害対策を施した上で、現東浦中学校周辺敷地へ配置することを想定しています。それにより発生する図書館、資料館等の跡地の活用方法等は現時点で決定していません。跡地利用については、全町拠点における基本計画策定の過程で検討していきます。
30	その他	人口減少→自治体で目玉を作って人口増をねらうのはムリ→住民のみという考えを捨てる→住民+町内勤務者+町内施設使用者⇒みんながよろこぶ町づくり	—	—